事務事業 No./名称	■サービス部門 まち-09 緑政運営事業 □支援部門						
主管課	みどり課	関連課					
分野名	みどり						
目標 (目標値)	緑の基本計画に沿った施策展開により計画を実現する。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	1,299	3,259	8,779			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	1,299	3,259	8,779			
	人員配置数	2.3	3.3	3.3			
	人件費(千円)	18,594	29,375	30,165			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	19,893	32,634	38,944			
	市民1人当りの経費(円)	112	184	220			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
		実績値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
緑政運営事業	1,299千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	緑の基本計画実現に向けた事業の推進				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	(仮称)上町屋特別緑地保全地区の指定に向けた取組を進めたが、候補地の区域を確定できず、都市計画決定図書の作成等は見送った。		
課題解決のための取組	地区指定に向け土地所有者に制度等の説明を行い、理解を求めたが協力を得ることができなかった。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	地区指定に向け継続して土地所有者の理解を求めていく。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		引き続き、緑の基本計画に基づく施策・事業等の取り組みとして、その成果・実績をまとめた「鎌倉市のみどり(緑の基本計画推進の取り組み)」を、緑政審議会に報告の上で、公表しながら計画の進行管理に努め、計画実現に向けた国・県等との連携・調整を図る。	課長等名
		③有効性 ○			↓
		④公平性 ○			B

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
緑政運営事業	主な個別事業	300 緑化推進専門委員報酬	408	408	○	○	○	○
		300 森林協会等負担金	212	212	○	○	○	○
		919 緑政審議会委員報酬	568	246	○	○	○	○
		919 上町屋地区都市計画決定図書作成業務委託料	1,000	0	○	○	○	○
		919 特別緑地保全地区標識設置業務委託料	300	170	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							